

第 25 期第 6 回常任理事会報告

2003 年 10 月 2 日 15 時 30 分～17 時 30 分

大阪管区气象台 台長室

出席者：大西支部長、里村・山中・渡辺・二階堂・金田 各理事、中嶋・新道 各幹事
(オブザーバー：佐々木全国理事)

1 50周年記念誌について

- ・原稿は現在約 10 名の方からいただいている。もう 1、2 名の方からいただけそう。
- ・今年の年会時の特別講演原稿も掲載する。
- ・実際の発送日は、年内(年度内ではなく)。12 月 12 日に発送できれば、綺麗だが。
- ・構成は次のとおり(合計 20 ページぐらい?)

(1) 表紙

デザインは特に凝らない(例会要旨集程度のもの)。
紙は少し綺麗なものを使う。

(2) 写真ページ

使用する写真は、10 月末～11 月はじめぐらいに、里村・金田・中嶋あたり集まり選ぶ。3～4 ページ。金額がかさみそうなら、白黒写真のページを 1 枚つける(カラーページよりは安いと思う)。

(3) 支部ニュース 第 1 号

現在の支部ニュースにあたる「関西支部だより」第 1 号(昭和 29 年 1 月 1 日)を掲載。この記事の中に、昭和 28 年 12 月 12 日の「関西支部成立宣言書」が掲載されている。

(4) 支部長あいさつ。

(5) 記念講演

今年の年会予稿集に掲載されたもの(若干の修正含む)。

(6) 寄稿文

順番は未定。50 音順、紀行文内容の古いものから、など。

2 例会について

中国地区は 22 題くらい。四国地区は 15 題くらい。例年より多い。

中国地区例会のプログラムは、10 月 8 日くらいまでに広島から事務局に届くことになっている。

中国地区例会のプログラムが決定すれば、HP 上に掲載してお知らせする。

3 関西支部第 25 回夏季大学について

前回理事会で、第 25 回夏季大学概要は報告済み。

来年の夏季大学への意見も含め、以下のものが出された。

- ・遠方からの講師が 2 人もいたのは、予算的にも厳しかったのではないか。
- ・収益をあげることのアイディアも出してよいのではないか(広告費、メーカー展示など)。
- ・いわゆる”有名人(顔なじみの人)”を 1 人用意できれば、参加者が多くなる。
- ・今年の参加者が多かったのは、テーマ(ネーミング)が取り付きやすかった(参加してみ

ように思えるネーミング) こともあるのでは。

・「実習」の評判が良かった。「現役予報官」というブランド力も大きかったと思われる(なお、アンケート結果によれば、講師個人のプレゼンテーション力に対する評価が非常に高かった)。その一方、「現役」予報官では台風接近時などに講義不能となることも含めて、いろいろリスクが大きい面もある。OB(元予報官)をあたることも考えたらどうか。

4 2005年全国大会について

- ・ちょうど2年後になった。
- ・神戸大学の会場を使わせていただくことで考えてみたい(会場費については要確認)。
- ・必要な部屋は、300人規模が1、200?人規模が3?(すみません、このあたり金田がうるおぼえです。)
- ・時期は2005年10月下旬の水・木・金曜日(19・20・21日か26・27・28日)が候補。
- ・来年の総会が終わったあとぐらいから、実行委員会を立ち上げる。
- ・今回は(少なくとも積極的に)寄付金を募ることはしない。
- ・今回は(少なくとも関西支部として)宿泊斡旋・飛行機チケット斡旋等はしない。
- ・会場スタッフには、学生さんにアルバイトでお願いする方向で考えるが、初日の受付は人が集中し、現金のやりとりも多くあるので、气象台側からもまとまった人数のボランティアをお願いする必要がある。
- ・関西支部としての役目は 会場の準備運営 シンポジウム 懇親会、の3つが主なものである。の懇親会も見落とさずに。
- ・参考のため、前回の全国大会の資料をまとめておいてもらう(中嶋幹事)

5 その他

- ・奨励金について
現在、基金の利子だけでは奨励金をまかなえていない。
来年度からは「利子+奨励基金の一部」を、奨励金支出にあてることを検討。
とりあえず満期となった基金の一部は、信託ではなく別の貯蓄(定期など)に移す。
規定上では「利子のみを奨励金にあてる」等の文言は無く、問題は無さそうだが要検討。
(なお、「基金の運用について必要な措置は常任理事会が定める」とある)
- ・HPについて
現在、HP作成作業は、京都大学幹事を通じて、京都大学の学生さんが行っている。
このため、HP作成の際のパスワード等は、京都大学幹事と実際に作業を行う学生さんだけが知っている。
しかし、今回の中国地区例会プログラムのHP掲載時期は、ちょうど気象学会全国大会が予定されており、大学側担当者は繁忙あるいは不在となる。このような場合に備え、气象台側にもHP作成作業が行える人を1人(または2人)用意しておくことが必要。
ID、パスワード等HP作成に必要な情報を、中嶋幹事(二階堂理事)にも伝える方向で検討。
- ・科研費について
他の支部で利用しているところもあるが、事務作業の煩雑さや決定時期等のことから利用しづらい面もある。